

令和4年6月29日： 令和4年度 第1回 技術管理委員会 議題

審議事項

○基準型技術「管きよ内面被覆（反転・形成）工法」の認定評価

基準型技術の種類	管きよ内面被覆（反転・形成）工法	
工法の名称	アルファライナー工法	
申請者	光硬化工法協会	
申請日	令和元年8月1日	
審査所管部署	管きよ内面被覆工法評価専門部会（建設部設計調整課）	
審査目的	非開削管きよ更生工法の採用を拡大するため、試行認定を受けた本工法について試行工事及び追跡調査を実施し、技術管理委員会が承認した技術評価基準（以下「技術評価基準」という。）を満足しているかを確認した。	
申請内容 (適用範囲)	種材 : A種材（ガラス繊維等と熱又は光硬化性樹脂で構成された材料） 形成方法：光硬化 適用範囲：本管内径 250mm～700mm	
審査内容及び結果	【①試行工事】 ・試行工事を3件実施し、出来形や安全性、特記仕様書及び本工法が定める品質管理項目などを確認	【①の結果】 ・いずれも要求性能を満たしていることを確認
	【②追跡調査】 ・施工の3か月、6か月後にテレビカメラによる追跡調査を実施し、所定の品質の異常を確認	【②の結果】 ・いずれも異常がないことを確認
審査結果	試行工事及び追跡調査の結果が技術評価基準を満足していることを確認できたことから、本工法について正式認定された。	
備考	・書類審査を経た試行認定は、令和元年度第5回技術管理委員会（令和2年3月18日）において承認された。 ・正式認定後、「管きよ内面被覆（反転・形成）工法の施工管理基準及び施工管理ガイドブック」の改訂を行った後、運用を開始する。	